16

# 中小機構中国本部 ハンズオン支援事業大会

## 現場の景色が変わり、人が変わり、企業が変わる

鳥取駅前に本社を置

年間で従業員数3倍、 それを実践し、この5

ITスクー た。そのため、

ルを立ち上

鳥取を拠点に全国規模の事業展開 ―地域にとっての企業の役割とは―

## アクシス代表取締役



地のエンジニアを採用

る仕組みを創ること」 掘すること」「獲得す が「埋もれた人材を発

「覚悟を決めて育て上

げること」それこそが

も、4年前にはフィリ

哲氏 鳥取に来るときに決

のの適任がおらず、 クシスを経営していた に東京で会社を経営し 私自身は鳥取出身では 緒に鳥取へ移住した。 気で取り組むため、 たことがきっかけ。私ていた私に声がかかっ 父が後継者を探したも を経営することになっ なく愛媛生まれの埼玉 業継承を機に<br />
家族と はアクシスの経営に本 東京育ち。アクシス 情報システムの開 を手がけている。 ルの運営や業 B P

が少ない である。もともと鳥取 というイメージを持た り人材が獲得できな て行ってしまう、 だか 見の75%が県内出身者 れているかもしれな 鳥取というと、 当社の場合は従業 若者も首都圏に出 人材が少な 育成する

板を出せば、それだけ 長来てます」という看 ようにしている。 努力として、 生も少なくない。他にに足を運んでくれる学 会には社長自ら出向 で興味をもってブース 自らの言葉で語る 情報を届ける 企業説明 他に

べるようにした。おか

の1年間で6社が起業 オフィスは満室で、こ げさまで14室のシェア

するなど成果が出てい

設しており、これまで 問わない新卒採用が可 礎から丁寧に育成して に修了生から27人が入 求職者向けに講座を開 42人もの人材を獲得す IT業界を目指す そのため学部を 新入社員を基 19年で 他に 地方企業の生命線

【企業概要】

本社:鳥取市扇町7 電話:0857•50•0375 資本金:2000万円 創立:1993年(平5)9月 従業員:134人

事業内容:システム開発・ ITソリューションの提供 ITスクール運営ほか

機械製造業である

る。パス

「ゼロフラップ」とい

り組みも行っている。

設

計

能

が

向

キング関連機

器を製

ーキングロック装

中で支援を受けた。 埋体制の再構築をテ 接部門を中心とした管 文化に変えていくた 7倍にすることができ 成長に見合った企業 半年間の短期集 利益を ることができた。 取り組むことにしたのげ、人材育成・発掘に 社の現役技術者が講師 T スク ー (材育成・発掘に

あり、年間120日は 設にリノベーション の住民も気軽に足を運 イベントを開催し地域 ス兼コミュニティー施 ペース・シェアオフィ というコワーキングス 学校を「隼Lab. **頭町の廃校になった小** 営者と一緒に鳥取 に縁のある何人かの経 1階にはカフェが

## 事 例 発 表 2

熱意を持った経営者

100億円企業に向けた成長戦略と中小機構の活用

製造するRF製造部、

る手法により、

シャッター

などを

上を行

**収を通すことで曲げ加** 

凹転体の金型に

金属の

ていただいた。製品を

置の原価低減を支援し



クという子会社 の大きな柱であ 刃物を製造する 廃棄プラスチッ でドラム缶、 **産業廃棄物処理** 砕するための破れ 動車の内装パ を製品に反映さ に駐車場の経営 タ ニーズ を手が で実際 శ్ర ツを破 場など 自 削減に直結するため 功した。鉄鋼製品は軽 の後、さらに自主的に することができた。そ 支援成果は非常に印象 量化がそのままコスト 下まで減らすことに成 的には重量を30点%以 活動を継続して、最終 古写から55古写)低減 に残るものであった。 また、この活動を通 重量は24%

原価・重量の低減を図 社製品と比較しながら バラバラに分解し、 原価は 自ら考え行動する組織に

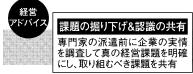
の大切さ、共通化思考件、原理・原則・現物じ、設計に必要な要 ている。 ジニアリングフィロソ の「京セラフィロソフ 複数の支援を継続的に ど、あらゆる経営課題 社は業務システムの再 ともできた。 計能力を向上させるこ 行っていただくこと 品設計業務の標準化な などを学んだことで設 イ」に倣い「英田エン で、プロジェクトリー いている。このように について支援をいただ ス、自ら実行する」と いう文化が根付いてき これを皮切りに、 当社には稲盛和夫氏 -が成長し「自ら考 新工場建設、 製 当 ひとりが自分で考え行億円達成に向け、一人 だ。 は常々、 動する組織、明るく前 禅道場で心身を健康に れ、スポーツジムと座食事を楽しみにしてく と考えている。 私が直接社員に伝える の本にまとめ、 保ってくれれば幸 置する。社員が温かい 工場には食堂・スポー 員を育てるかが大切だ 営哲学や考え方を一冊 **業者の精神、経営理念** 向きに素直な心で取り ツジム・座禅道場も設 ためにあり、 ことを続けている。 今年中に建設する新 20年の売上高100 会社は社員の いかに社 これを

【企業概要】

本社:岡山県美作市三保原678 電話:0868•74•3637 資本金:6000万円 創立:1974年(昭49) 8月 従業員:135人

事業内容:冷間ロール成形機 造管機、破砕刃・粉砕刃、無人 駐車場・駐輪場管理システムな どの企画設計製造販売およびメ ンテナンス・アフターフォロー などのサービス

### ハンズオン支援事業(専門家派遣)とは



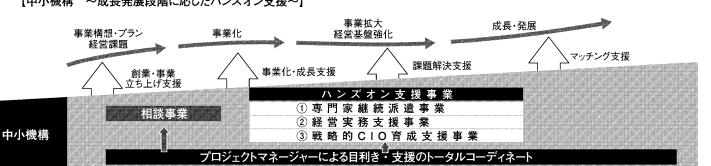
支援内容・計画の提案 企業の実情に合わせて最適な 支援内容・具体的な支援計画を

専門家の選定 案し、派遣前に企業と専門家σ マッチングを実施

専門家による支援の実施 社内プロジェクトチームを編成し、支援受入態勢が整ったら専 門家の派遣を開始



~成長発展段階に応じたハンズオン支援~】



中小企業基盤整備機構(中小機構)中国本部は2月15日、2018年度のハンズ オン支援事業大会を岡山市北区で開いた。ハンズオン支援とは、支援先企業に その分野の専門家を派遣し、企業と並走しながら自己変革を後押しする手法。 今大会ではサブテーマに「現場の景色が変わり、人が変わり、企業が変わる」 を掲げ、変革のための人材育成を重視する姿勢を打ち出した。 企業経営者やマネジャー、金融機関や支援機関などから約200人が参加。熱心 な質問も出され、先行事例に聞き入っていた。当日の模様を紹介する。



と「現場の景色が変わ り、人が変わり、企業が 実施していたが、多く 業の事例紹介と、参加 で成果を上げている企 の方々に知っていただ 小機構中国本部が行っ 業のみなさまの交 この制度を利用する いる専門家派遣制度 昨年まで広島まで 初めて岡山で

の製造、販売方法でい 業承継と人手不足。 とって一番の課題は事 改善を続けるようにな が帰った後も自主的に るようになり、 の方々が自分たちで積 が非常に重要。 変わる」と掲げてある いのか考えてみる時 える中、生産性の向上 本が人口減少時代を迎 現在の中小企業に この制度をご活用 報告会では社員 発表をす 今まで 日

ごあいさつ

本大会の目的は、

中国本部本部長中小企業基盤整備機構

清孝



岡山で初開催されたハンズオン支援事業大会

## 事例発表1

成長戦略を達成するためのICTと 生産性向上および中小機構の活用

護事業なども営んでい工や情報システム、介

る。

### 中西 美保テクノス専務取締役



た。導入前の設定目標 〇時間の削減に成功し

には達していないが、

システムの最適

- 高100億円を目指

ーガンに掲

変わろ

さらな

的意識の高揚を成長戦 略の柱に、中期経営計 画を推進してきた。そ 上、そして従業員の目 新たな業務システムの 16年から18年にかけ ICTと生産性向 中小機構からは

という観点での支援で に経営に貢献させるか という成果をどのよう テム導入による工数削 -ドタイム短縮

実現した。 い管理会計制度の構 ・承認の迅速化や新し MIXの導入によっ 帳票類の電子化も

働できた。また、 もいただいた。新シス 上をテーマとした支援 カ月にわたり生産性向 実際の開発を経て昨年 10月に新システムを稼 17年8月から14 誓 社のリアルタイムでの テムで行えるようにな ション・システム)」 情報共有も可能となっ 連の管理を一つのシス ら実施・報告までの一 の稼働により、 った。また、現場と本 その他にも、 レス化による決裁

周年を迎えた。当社を業であり、昨年創立60 社組織があり、金属加 勇会というグループ会 中心に13社からなる美 に本社を置く総合建設 当社は鳥取県米子市 析と課題抽出、ITベ ただいた。16年3月に月にわたって支援をい 構築をテー ンダー選定、適合分析、 キックオフし、 ーマに、 ティブ・コンストラク 当にありがたかった。 あった。これら長期的 かつ複合的な支援は本 文(美保・イノベー 新しいシステム「M

ステ

全部門合計で約300 工数削減の面では ドタイ リー

## 「数削減

できた。 領域の拡大により、 の一体連携による持続 があったと考えてい の設定目標をほぼ達成 0日の短縮と、 務合計で約1万200 間強の上積みを達成し 的な成長、そして事業 **業戦略を同期化させ、 画では、全体戦略と営** より、利益は相当増え で削減時間1000時 看化を図っていくこと 事業部門・間接部門と てきており一定の成果 イム短縮の面では各業 3年間の取り組みに さらに次期中期計 なお、 導入前 造造 創造 ている。そのためにる飛躍ができると考え ていくことで、 う リューの創造」と称 す。 らを一つずつ成し遂げ ひも付けている。それ た社内プロジェクトを これらを「セブン・バ し、それぞれに関連し 「変えよう、 当社では企業価値の をスロー 株主価値の創造 創ろう新たな価値 社会貢献価値の創 サービス価値の創 従業員価値の創 ブランド価値の 建物価値の

### 【企業概要】

本社:鳥取県米子市昭和町

電話:0859・33・9211 資本金:1億円

創立:1958年(昭33)7月 従業員:184人

事業内容:土木、建築に関 する工事の施工および測量 • 企画 • 調査設計 • 監理並 びにコンサルタント業務ほ か